

導入事例 015

株式会社 大林組 様

wrappon  
×  
Construction  
建設



提供：大林組

## 東京スカイツリー。® 日本一高所で使われた 簡易トイレ。

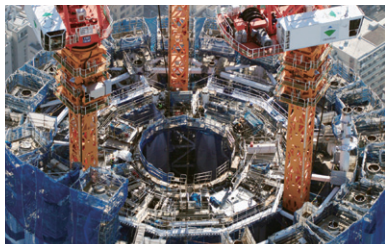
### 地域の期待に応え国際観光都市の実現を目指す

2012年5月22日に開業予定の東京スカイツリー®(事業主体：東武鉄道・東武タワースカイツリー、設計・監理：日建設計、施工：大林組)は、タワーの最高地点が634メートルと、自立式電波塔としては世界一の高さとなります。隅田川を背景に地域との調和を深め、タワーを中核とした大規模複合開発は東京のあらたな観光名所として、世界中から注目されています。

東京スカイツリーから発信される日本の伝統文化と最新技術もまた、注目される要素の一つと言えます。特に空高くそびえる建設中のタワーで稼動するクレーンは人々の関心が必然的に集まりました。2009年3月以降、順次タワークレーンが上がり、4基のクレーンが稼動していました。見上げる建設中の東京スカイツリーのトレードマークのように約2年間日本一の高所で活躍していました。

### 極限の建設現場だからこそ

タワークレーンのオペレーターの方は、現場での作業が始まる前にクレーン操縦室に向かい作業終了まで1日中操縦室に入ったままです。休憩、食事、トイレもまた操縦室で完結させなければなりません。



提供：大林組

「通常、クレーンのオペレーターは体作りができていますので、作業時はトイレを極力使用しないように心掛けています。しかし、このような特殊(高所)な現場では非常用にトイレを設置できませんと、緊急対応が出来ません。メンテナンスが簡易で、設置も場所をとらないラップポンは比較的導入しやすい仮設トイレです。」(辺見工事長)



株式会社大林組  
新タワー建設工事事務所  
工事長(機電担当)  
辺見 厚志 様

### 導入商品

ラップポン・トレッカー



大林組

本社 東京都港区港南2丁目15番2号  
創業 明治25年(1892年)1月  
設立 昭和11年(1936年)12月  
事業内容 国内外建設工事・地域開発・  
都市開発・海洋開発・環境整備・  
その他建設に関する事業、及び  
これらに関するエンジニアリング・  
マネージメント・コンサルティング  
業務の受託、不動産事業ほか

ラップポン  
セイフティーコール

0120-208-718

<http://www.wrappon.com>

E-mail:kaigo@nihonsafety.com

資料ご希望の方は、フリーダイヤル・メール・ホームページからお気軽にどうぞ



日本セイフティー株式会社 ラップポン事業部 〒112-0002 東京都文京区小石川1-3-11